

西京健康ひろばに参加してきました!

6/22(土) 西京健康ひろばがウェスティで開催されました。健康講演会で「心臓・循環器系について」という演題で、当院の心臓内科 横松医師、出見世理学療法士、尾呂管理栄養士が講演を行いました。心臓の働きから病気による影響、日常の健康維持まで、幅広い内容をお話させていただきました。また、会場のロビーで冊子や動画をつかってHPVワクチン啓発活動をいたしました。今後もこういった医療についての知識を共有するイベントを通じて、みなさんの健康維持、病気の予防に貢献できるように取り組んでまいります。



YouTube 公開講座「いきいき健康教室」動画配信中

リンクまたは二次元コード読み取りで
ご覧いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLPrr2_Zvoj2ZZaPYK1RTEWfrhg-AD4Ya



京都府がん診療推進病院

三菱京都病院

MITSUBISHI KYOTO HOSPITAL

救急告示病院 人間ドック・健診施設機能評価認定施設
日本医療機能評価機構認定病院 厚生労働省指定臨床研修病院

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地
TEL 075-381-2111 FAX 075-392-7952

予約専用ダイヤル **075-381-7811**

セカンドオピニオンをご希望の方も予約専用ダイヤルにお電話ください。

がん相談窓口(患者支援センター) 【(月~金) 10:00~16:00】
TEL:075-381-2111 FAX:075-392-7952

<https://mitsubishi-hp.jp>



ACCESS



阪急電車

■京都市営バス「桂駅」下車北へ徒歩15分、タクシーで約5分

お車の方

■京都方面からは西大橋から信号4つ目左折50m左折
■亀岡方面からは阪急のガードを越え、次の信号右折50m左折

京都市営バス

■23系統(京都駅~洛西バスターミナル)上桂前田町下車徒歩3分
■70系統(太秦天神川駅前~小畑川公園北口)上桂東ノ口下車徒歩5分
■69系統(みぶ~桂駅東口)上桂西居町下車徒歩10分

京阪京都交通バス

■27・21系統(桂坂中央~京都駅前)上桂前田町下車徒歩3分
亀岡・園部方面から27・21系統への乗り継ぎは、1・2系統国道
中山(下車)乗り換え

無料送迎バス

■阪急桂駅西口より約20分間隔で運行中
※開院日以外は運休しています。

【開院日】

時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発
8時	00 20 40	13 33 53
9時	00 20 40	13 33 53
10時	00 20 40	13 33 53
11時	00 20 40	13 33
12時		50 43
13時	10 30 50	03 23 43
14時	10 30 50	03 23 43
15時	10 30 50	03 23 43
16時		03 23 43



※予告なく変更・中止する場合がございます。
※道路事情・その他諸事情により乗車場所が移動する場合がございます。
※定員オーバー、交通事情により遅れる場合があります。ご了承ください。
※開院日以外は運休しています。

himawari

三菱京都病院 2024 autumn Vol. 78

CONTENTS

TOPICS

産婦人科にまつわる
ワクチンのお話

きらめくみつびし仕事人 第4回

歯科衛生士の
田村 叶生さん

新任医師の
ご紹介

TOPICS

第4回
オープンホスピタルを
開催します

理学療法士が紹介!
健康ストレッチ 第23回

『変形性膝関節症の予防』

特集 ひまわり編集部が聞く!

緩和ケア内科・腫瘍内科インタビュー

進行がんへの医療

~患者さんに合わせた治療・ケアの選択~



緩和ケア内科・腫瘍内科インタビュー

進行がんへの医療

～患者さんに合わせた治療・ケアの選択～



吉岡 亮

高田 七重

谷山 朋彦

堀 哲雄

当院では、進行がんに対して抗がん剤治療まで緩和ケアまでさまざまな対応をおこなっています。腫瘍内科・緩和ケア内科での医療の特徴を先生方にお伺いしました。

当院の進行がんへの医療の特徴はありますか？

吉岡Dr:当院では、腫瘍内科・緩和ケア内科を医師が兼任し、抗がん剤治療と緩和治療のどちらもおこなって



ます。そのため、診断されてから最期まで同じ医師が対応していくことができます。日本では一般に、臓器ごとに診療科が治療を担当することが多いのですが、当院では乳がん以外の抗がん剤治療を腫瘍内科でおこなうことも特徴です。

抗がん剤治療について教えてください。

堀Dr:進行がんは完全に治ることを見込めない人が多く、抗がん剤治療をすることで少しでも長く元気でいていただくために治療をおこないます。当院では放射線治療もできますので、放射線治療科の医師と連携して治療することもあります。処置や専門的な治療が必要な場合は、各科の先生と連携をとり対応しています。当院は診療科の壁がなく連携が取りやすい病院だと思います。

緩和ケアについて教えてください。

高田Dr:患者さんの痛みや息苦しさ、だるさなどの身体的な苦痛に対して、また患者さんが抱えていらっしゃる気持ち、心理社会的、スピリチュアルなつらさについても一緒にサポートしながら緩和ケアを提供しています。腫瘍内科・緩和ケアを医師が兼任していると、患者さんのそれまでの経過をみているので、その人らしさがわかることが強みです。生活のサポートが必要な時期も的確に知ることができます。



緩和ケアへ移行するタイミングは？

谷山Dr:一般にはまだ、抗がん剤治療が効かなくなったら次に緩和治療へという根強い誤解があります。しかし、進行がんの患者さんは診断されたときから、緩和ケアを提供するべきだと言われていました。当院では同じ医師が腫瘍内科と緩和ケア内科を担当していますから、私たちは患者さんとお会いしたときから緩和ケ



アを意識して医療を提供しています。抗がん剤治療の担当から緩和ケア内科に担当が替わることに悲観される患者さんもいらっしゃいますが、当院では診断されたときから最期まで担当医がずっと同じなんです。

堀Dr:どこからが緩和ケアということはありません。どういう状況になれば緩和ケアということもありません。抗がん剤治療をうけたい患者さんが、治療可能であればまずし、治療したくない患者さんは抗がん剤治療しなくても外来通院できます。緩和ケアへの切替がないのが当院の特徴です。治療の選択も、生活の選択も患者さんのご希望に合わせて対応できるようにしています。

緩和ケアは病棟に入院が必要ですか？

堀Dr:そこはわけてないんです。入院しなくても良い方は外来通院になりますし、在宅で過ごされる方、緩和ケア病棟にご入院を希望される方それぞれご希望に合わせて検討いたします。



吉岡Dr:緩和ケアでは、医療的な側面と、生活の側面を考える必要があります。がんは病状によって生活への支障が大きく変わりますから、その時期の状況に合わせた対応が必要です。通院が難しいけれど、家で過ごしたい人には、近隣の医療機関、もしくは当院から訪問診療をおこないます。患者さんは家にいたまま、緩和ケアをうけることができます。

今後、実現されたい医療は？

吉岡Dr:この地域で、進行がんの患者さんへ最良の医療を提供したいと考えてきました。常に最新の医療技術を取り入れ、高度であたたかい医療を提供し続けたいと考えています。

高田Dr:循環器疾患や慢性の呼吸器疾患などがん患者さん以外への緩和ケアにも取り組みたいと思います。当院には「緩和ケアチーム」がありますが、対象患者さんはがん以外の方も多いです。入院後に不眠やせん妄などの精神症状がでてしまう患者さんの相談が多いですね。この場合チームでは、状況の分析をして対処法を伝え、必要なときには薬剤を使って症状緩和をします。

部屋の環境を整えたり、リハビリを積極的にしてもらったり、薬剤の組み合わせを考えたりと、医師、看護師や薬剤師など多職種で協力しています。

堀Dr:がんと付き合ひ方は人それぞれです。抗がん剤をするかしないか、抗がん剤をどう選ぶか、などその人の価値観に合わせて、治療や療養場所の選択を考えていきます。がんがわかった時点から、どのように生きていきたいのか時間をかけて話しあいサポートしていきたいです。進行がんに対して、当院ほど抗がん剤治療と緩和ケアを一緒にできる病院は少ないので、それをもっと広く知っていただきたいと思います。

ESMO (欧州臨床腫瘍学会)で「がん治療と緩和ケアが統合された施設」に認定されました。

当院は、ESMO (欧州臨床腫瘍学会) から、がん治療と緩和ケアが統合された施設として、国内で初めて認定されました。(国内3施設認定) この認定は、がん患者さんとお家族を多面的に支援していることが必要で、緩和ケアとがん治療が適切に提供されていることが評価されたものです。



副院長兼
腫瘍内科・緩和ケア内科部長
吉岡 亮
(よしおか あきら)

がんの病状の全経過を生活の変化に焦点を当てて、わかりやすく説明しています。知りたい方は外来を受診してください。



副部長
呼吸器外科兼任
堀 哲雄
(ほり てつお)

がんの患者さんはどんな時期でもどんな状況でもご相談ください。



高田 七重
(たかだ なえ)

バックアップを精一杯していきたいと思っています。



谷山 朋彦
(たにやま ともひこ)

色々なサポートをおこないますので、お気軽にご相談ください。



八城 弘憲
(やしほ ひろのり)

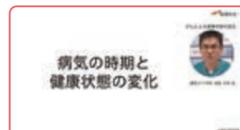
がんに関することもがん以外のこともお気軽にご相談ください。



公開講座「いきいき健康教室」動画配信中

リンクまたは二次元コード読み取りで
ご覧いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLPrr2_Zvoj2ZZaPYK1RTEWfrhg-AD4YA



いきいき健康教室
(がんによる終末期の身体機能の変化について)



いきいき健康教室
(もしものときに備える)

産婦人科にまつわるワクチンのお話

ヒトパピローマウイルスワクチン

子宮頸がんの原因のほとんどはヒトパピローマウイルス (HPV) によるものです。このウイルス感染を予防する効果のあるワクチンの公費助成がおこなわれています。

公費助成の対象は小学6年生～高校1年生までですが、現在接種の機会を逃しておられた方を対象に公費助成によるキャッチアップ接種がおこなわれています (1997年度生まれ～2007年度生まれの方が対象です)。2025年3月末までに3回接種を終える必要があるため、ご検討中の方はお早めに接種を受けられることをお勧めします。

当院ではHPVワクチン接種の外来を設けております (月曜日、火曜日15時半) のでご利用ください。子宮頸がんだけではなくいくつかの性感染症も予防効果のある9価ワクチン (シルガード® 9) の接種をおこなっています。

一般的な接種スケジュール



※いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。
※シルガード®9は、15歳未満はスケジュールが異なります。

9価HPVワクチンの予防効果 約90%



RSウイルスワクチン

RSウイルスは生後2歳までにほぼ100%感染すると言われていますが、生後6ヵ月までは感染すると重症化することが知られています。

このワクチンを妊婦さんに接種することにより、RSウイルスに対する抗体が妊婦さんの体内で作られます。抗体が胎盤を通して赤ちゃんに流れ込むことで、新生児期、乳児期までのRSウイルスを原因とする下気道感染症を予防することができます。このワクチンでは生後半までの効果が示されています。

妊娠24～36週の間に1回接種をすることが必要です。28週～36週の期間内がより効果が高いと言われています。

当院での予防接種は予約制となっていますので、ご希望の方は妊婦健診時にお申し出ください。



当院で働く
スタッフを
ご紹介!

きらめく★ みつびし仕事人

第4回

当院で働くスタッフを紹介するコーナー。
第4回は、今春入職の新人歯科衛生士 田村 叶生さん
をご紹介します。

全身管理も重要です

外来診療・外科処置のアシスタント、病棟・外来での口腔ケアなどをおこなっています。入社して3ヶ月が経ちましたが、先輩方のサポートも頂きながら少しずつ任せてもらえることも増え、学生の頃とはまた違った責任感を持ち業務をおこなっています。一般の歯科医院での業務とは違い、全身との関わりが深い患者さんが多いので、口腔だけでなく全身に関する知識も必要となり勉強の毎日ですが、これからも笑顔と向上心を忘れず成長していきたいです



憧れて入職しました!

歯科衛生士 田村 叶生 (たむら かなう)

三菱京都病院に臨床実習で3ヶ月間お世話になりました。その間、患者さんと関わる中で、一人ひとりに寄り添い、信頼関係を築かれている歯科衛生士さんの姿に強く憧れを抱きました。また、外来や病棟での口腔ケアで笑顔になってくださる患者さんを見て、私も三菱京都病院の歯科衛生士さんのように口腔ケアを通じて患者様に笑顔や元気を届けられるような存在になりたいと思い入職しました。中学生の職業体験でもお世話になり、ご縁を感じています。

傾聴の姿勢を大切にしています

患者さんの求められていることは何なのか、言葉だけでなく表情や行動をよく見て理解することが大切です。知識や技術はまだ未熟ですが、その分より一層の声かけや傾聴の姿勢で患者さんのニーズを聞き出し、応えられるよう心がけています。

TOPICS

第4回オープンホスピタルを 開催します

11月9日(土) 13:00~16:00オープンホスピタルを開催いたします。当院や医療を身近に感じ、広く知っていただけるような公開講座やイベントを多数計画していますので、ぜひご来院ください。

開催日時: 2024年11月9日(土) 13:00~16:00

開催場所: 三菱京都病院

※参加費無料・お申し込み不要

詳細決まり次第、院内掲示・ホームページ等でお知らせいたします。

手術体験、測定コーナー、
バルーンアートもあるよ!
キッチンカーも来ます!



第23回 理学療法士が紹介!

健康ストレッチ



自宅で簡単にできるストレッチ・筋トレを理学療法士がご紹介するコーナーです。

理学療法士 山本 真輝 (やまもと まさき)

今回は『変形性膝関節症の予防』ストレッチをご紹介します!

変形性膝関節症は、女性に多くみられ、高齢者になるほど罹患率は高くなります。原因は関節軟骨の老化によるものが多く、肥満や遺伝も影響しています。今回は、変形性膝関節症の予防となる関節軟骨の柔軟性向上と大腿四頭筋の筋力強化となるストレッチをご紹介します。

膝周辺の柔軟性を向上

膝蓋上嚢をほぐします。



①左に寄せる ②右に寄せる ③15回くり返す

膝蓋下脂肪体をほぐします。



①左に寄せる ②右に寄せる ③15回くり返す

大腿四頭筋の筋力強化

①肩幅に足を開き、安全のため手は壁などで支えます。



②痛みがない程度にゆっくりおしりを下げて行きます。



安全のため、椅子をおいておきます。

変形性膝関節症の症状

主な症状は膝の痛みと水がたまることです。初期は立ち上がり時や歩き始めなどの動作開始時に痛みます。症状が進行すると正座や階段動作が困難になり、末期には膝が伸びきらず歩行も困難になります。

ポイントアドバイス

日常生活での注意点

和式から洋式の居住空間にすることで、正座などによる膝の負担を減らすことができます。

新任医師のご紹介

10月より1名の医師が新しく着任いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。

小児科 医師

松田 浩一 (まつだ こういち)

専門・得意分野 小児循環器領域、小児科一般

平成24年 京都大学を卒業後京大病院小児科、兵庫県立尼崎医療センターで小児科研修を終えました。以降は、京大小児科で小児循環器を専攻し、大学院を経て現在に至ります。西京地区の小児診療に貢献できるようがんばります。

